

# ロットネスト島の環境保護

約6500年前、海水レベルの大きな変化によってオーストラリア本土から孤立し、それ以来独自の進化を歩んできたロットネスト島は、現在、学術的にも非常に貴重な資源が残る場所として知られています。ロットネスト島管理局では、Aクラスの自然保護地区として環境へのダメージを最小化する様々な努力を日々続けています。

## ゴミ処理

1996年以降、ロットネスト島管理局では西オーストラリア州で初となる公共エリアでのリサイクルプログラムや、埋立地における有機素材の堆肥化処置などに着手し、2000年に「3R (Reduce/Recycle/Reuse) 賞」を受賞した。現在島内では、リサイクルできるアルミやガラス、プラスチックなどは本土に運び、そうでないゴミは島内の2ヘクタールの埋立地へと運ばれているが、現行のシステムを改良し、全てのゴミを本土に運んで処理をするという計画が進行している。



リサイクルを促すようにデザインされたゴミ収集車



## 環境教育プログラム

ロットネスト島では、課外学習としてグループで学べるものから一般向けの2日間コースまで、幅広い環境教育プログラムが行われており、島のユニークな環境を積極的に教えている。



## 水の供給

島の水は元々、雨水や地下水で供給されていたが、観光客の増加に伴い、地下水の水位を適正に保ちながらの供給が困難となった。そこで1995年に塩水淡水化プラントが建設され、現在では島で使われる量の70%に当たる1日500キロリットルの水が島内で作られており、貯蔵タンク内の水質は安全の基準を満たすように定期的に検査されている。一方、町以外のトイレなどでは建物の外にタンクを設置し、現在でも雨水を溜めて使っている所もある。

## 海水質モニタリング

ロットネスト島管理局と保健省 (Department of Health) では、観光客が安心して遊泳できるよう、国際的なガイドラインに沿って定期的に海水質検査を行っている。また同局では、島周辺に停泊するポートに正しい廃棄物処理の方法を促すなどして、島周辺の海中環境に悪影響を与えないように働きかけている。

## 風力タービン

風力タービンは、コストのかかる淡水化プロセスを経済的、環境的に持続可能なものにした。最大600kWの発電は島全体の約40%の電力を賄い、それにより年間で発電に使われる43万リットルものディーゼルの使用を節約し、1,100トンの温室効果ガスの排出を抑えている。



## プログラムの例

### 環境保護と開発 (Sustainability Challenge)

現在、島内で利用されている発電、水道設備などの施設について知り、人間が島の環境とどのように共存している、また今後どのように開発していけばいいのか考察する。  
対象：中学生以上 料金：\$3.10

### 生物の魅力と適応 (Attractions and Adaptions)

島で私たちを楽しませてくれる動物たちの適応能力とその方法を学び、島の生態系についての理解を深める。  
対象：中学生以上  
料金：\$3.10



西オーストラリア州にのみ生息する Moaning Frog (Photo Courtesy of Rottneest Island Authority)

※一般向け2日間コースを除き、最低催行人数は、原則として8人。また各プログラムの予約は、催行4週間前まで受付けている。

### 環境教育プログラムの問い合わせ先：

ロットネスト島管理局のウェブサイト (P19 参照)、または教育サービス (08) 9372 9777 まで。

## 編集部より

今特集の制作にあたり、ロットネスト島管理局、及びロットネスト島の関係各人には多大なご協力を頂きました。この場を借りて、深くお礼申し上げます。

## From everyone at The Perth Express

We would like to acknowledge Rottneest Island Authority and the relevant people on the island for thier profound support to this feature article.